

日本の商業用プルトニウム輸入と MOX 燃料使用状況（プルトニウム kg 総量にて表示）

1993 年～2014 年 12 月まとめ

輸送年 (日本到着)	輸送先(発電所名)	輸送量	装荷量	備考
1993 年 1 月	もんじゅ高速増殖炉(福井県)	1,509kg		1995 年、もんじゅはナトリウム漏れ事故により停止。
1999 年 9 月	東電福島 I-3 (コジェマ/ベルゴニュークリア社製)	210kg		2011 年、事故により溶融。
	関電高浜 4 (福井) へ (英国核燃料会社製)	255kg		英国核燃料会社の MOX 燃料品質管理データ偽装事件のため、2002 年、燃料は英国に返送された。
2001 年	東電柏崎刈羽 3 (コジェマ/ベルゴニュークリア社製)	205kg		刈羽住民投票により、MOX 使用断念。
2002 年	高浜原発から英国へデータ偽装燃料の返送	▼255kg		
2003—2008 年	輸送無し			
2009 年 5 月	中電力浜岡 3 (静岡) へ (アレバ社製)	213kg		
	九電玄海 3 (佐賀県) へ (アレバ社製)	677kg	677kg(玄海 3)	
	四電伊方 3 (愛媛県) へ (アレバ社製)	831kg		
2010 年 6 月	九電玄海 3 (アレバ社製)	801kg	210kg(福島 I-3)	
	関電高浜へ (アレバ社製)	552kg	633kg(伊方) 368kg(高浜)	
2011 年			640kg(玄海 3)*	東電福島原発事故後、抜き取られ、燃料プールで保管中。
2012 年	輸送無し			
2013 年	関電高浜 3 へ (アレバ社製)	901kg		
現在(2014/12)		6,154kg	1,888kg*	4,266kg が未使用*

(グリーンピースの記録と WEB サイト核情報 http://kakujo.net/ndata/pu_jp.html のデータを元に作成)

* 玄海原発に一度装荷された 640kg が東電福島原発事故後、抜き取られ、燃料プールで保管中のため、現在の装荷量は 1,888kg となり、未使用量は、輸入量一装荷量とした。

なお、プルトニウムは 1993 年以前にも輸入されている。